

令和元年度全学FD・SDプログラム 第2回高等教育セミナー

教学マネジメントにおけるIRの可能性 ～試行的教学IR中間報告から～

文部科学省中央教育審議会答申「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」において、未だ多くの大学で十分な教育課程の公開、およびその評価がなされていないことが指摘されました。それを受けて現在、文部科学省において教学マネジメント特別委員会が開催され、今後各大学が自立した教学マネジメントが運用できるためのガイドラインを策定しています。

質保証のための教学マネジメントは個々の教員の努力だけではなく、組織全体で検討し、組織（機関）の説明責任として公開することが求められています。その実現を促すのがIR（Institutional Research）。IR自体、その運用については多くの整備すべき点があり、また教職員間のコンセンサスも必要となってきます。

本セミナーでは、その運用を実現すべく今年度高等教育推進センターで試行的に実施している教学IRの、本学における今後の可能性を教職員間で検討することを目的とします。

日時・会場

令和元年11月27日（水）14：40～16：10

滝沢キャンパス：共通講義棟2階 205講義室

宮古キャンパス：管理研究棟1階 会議室（遠隔配信）

タイムスケジュール

- 14：40～ 開催趣旨説明（石堂高等教育推進センター長）
- 14：45～ 今年度試行に至るまでの経緯説明（関屋高等教育室長）
- 14：55～ 試行結果報告及び今後の展望
（高等教育推進センター 渡部准教授）
- 15：50～ 質疑応答、アンケート記入
- 16：10 閉会

本セミナーは、事務局職員の研修計画のうち「大学職員一般共通研修—大学職員としての能力・資質向上研修」に位置付けられています。